

人文学部「卒業論文報告会」を開催しました 4年間の学びの集大成

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋徳行）では、人文学部が「Capstone Project Symposium」と「卒業論文報告会」を開催しました。本学人文学部は卒業までに卒業論文を書き、口述試験に合格する必要があります。約1年かけて準備、執筆する卒業論文は、4年間の学びの集大成として位置づけられています。「Capstone Project Symposium」は、人文学部のGSC(グローバル・スタディーズコース)英語プログラムの学生から選出された3名が、「卒業論文報告会」は、各学科から選出された優秀かつユニークな卒業論文の執筆者が、研究発表を行いました。

開催概要

日程：2023年1月30日（月）※時間は学科ごとに異なります

会場：武蔵大学（東京都練馬区豊玉上1-26-1）

Capstone Project Symposium

GSC（グローバル・スタディーズコース）：8号館8階 武蔵大学50周年記念ホール（11：00～15:00）

武蔵大学人文学部卒業論文報告会

英語英米文化学科：8号館6階 8603教室（13：00～14：55）

ヨーロッパ文化学科：8号館5階 8503教室（13：00-15：35）

日本・東アジア文化学科：8号館7階 8702教室（13：00～15：45）

卒業論文タイトル

■GSC（グローバル・スタディーズコース）英語プログラム（3名発表）

- Strategies for “Proactive, Interactive, and Deep Learning” in Teaching Literature:Employing Natsume Sōseki’s Kokoro under the New Curriculum Guidance
- Performing Modernization: Kalakaua, the Last King of Hawai’i ほか

■英語英米文化学科（5名発表）

- 「コミュニケーションにおけるフォローアップクエスチョンが与える影響について」
- 「スマートフォンが台頭したことによるミュージアムでの「価値」についての考察」ほか

■ヨーロッパ文化学科（6名発表）

- 「人間とはどのような存在か——パスカル『パンセ』を中心に」
- 「絵本に内在するジェンダーバイアス——21世紀の日本と欧州の絵本の比較から」ほか

■日本・東アジア文化学科（6名発表）

- 「『丹後国風土記』逸文の水江の浦の嶼子 - 蓬山はくとかよのくに> なのか -」
- 「古代における鳥装」ほか

—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報室 担当:西・齋藤（にし・さいとう）

TEL:03-5984-3813 FAX:03-5984-3727 E-mail:pubg-r@sec.musashi.ac.jp

2022 年 4 月 17 日、武蔵学園は創立 100 周年を迎えました

■ 武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス:西武池袋線「江古田駅」から徒歩 6〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年 4 月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から 4 年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012 年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020 年 3 月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022 年 4 月、学園創立 100 周年を迎えるこの年に、新学部となる国際教養学部を開設し、経済、人文、社会、国際教養の 4 学部 9 学科となった。

学長 高橋 德行

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1